

## 教材4-B-(5) 資料の活用、分析

② 『相対度数という言葉とその値を使って説明』の解決のために

相対度数は、度数の合計が異なる2つの資料を比べるために用います。

$$\text{相対度数} = \frac{\text{その階級の度数}}{\text{度数の合計}}$$

ある階級の全体に対する割合が分かりますね！



たしかめよう

次の【表1】、【表2】について、下の問いに答えましょう。

【表1】A中学校のハンドボール投げの記録

階級(m)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
0 ~ 5	0	0
5 ~ 10	3	0.05
10 ~ 15	6	0.1
15 ~ 20	18	0.3
20 ~ 25	21	0.35
25 ~ 30	9	0.15
30 ~ 35	3	0.05
35 ~ 40	0	0
合計	60	1.00

【表2】B中学校のハンドボール投げの記録

階級(m)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
0 ~ 5	0	0
5 ~ 10	2	0.05
10 ~ 15	3	0.075
15 ~ 20	9	0.225
20 ~ 25	16	0.4
25 ~ 30	8	
30 ~ 35	1	
35 ~ 40	1	
合計	40	1.00

(1) 【表2】の相対度数を求め、表を完成させなさい。

例 5m以上10m未満の階級  
 $2 \div 40 = 0.05$

(2) 25m以上ハンドボールを投げた人数の割合が大きいのは、どちらの中学校か答えなさい。また、その理由を「**相対度数**」という言葉とその値を使って説明しなさい。

25m以上ハンドボールを投げた人の割合は、

A中学校  $(9 + 3 + 0) \div 60 =$

B中学校  $(8 + 1 + 1) \div 40 =$

【答え】 A中学校の25m以上の3階級の度数の合計は  で、その相対度数は  、

B中学校の25m以上の3階級の度数の合計は  で、その相対度数は  であり、

中学校の値が大きいから。

この割合が、相対度数ですね。